

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名：福岡県立スポーツ科学情報センター
- 2 指定管理者名：（公財）福岡県スポーツ振興センター
- 3 指定期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日
- 4 施設設置目的：県民の体育・スポーツの普及振興を図り、併せて健康増進と福祉の向上に資するため。
- 5 管理運営についての点検結果（平成29年4月1日～平成30年3月31日）
 - （1）点検方法：事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - （2）点検結果：別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
<p>①公共性（公益性）の確保</p>	<p>○県では競技スポーツや生涯スポーツの振興、学校体育の充実等を図っているところであり、県民に対する施設提供や各種大会の開催等の諸事業を行うなど、体育・スポーツの振興のための中核施設としての管理運営を行う。</p> <p>○国、県、市町村及び競技団体等が実施する生涯スポーツの振興や競技力向上の取組など、体育・スポーツに関する取組に対して、積極的に協力を行う。</p>	<p>・年間を通じて計画的に全国・九州・県内全域の各種スポーツ大会やイベント等を実施するとともに、一般県民のスポーツ活動や学校体育の充実に関する研修会等への施設提供を積極的に行うことにより、適切な管理運営を行った。</p> <p>・スポーツ指導者の養成、資質の向上を図るための研修会の実施及び体育・スポーツに関する情報提供を積極的に行った。</p> <p>・県が実施する選手強化推進事業に、施設提供や国体参加競技の戦術分析等により積極的に支援した。また、ジュニアアスリートの発掘・育成を行うタレント発掘事業等を実施するなど、県の実施する選手強化を支援した。なお、タレント発掘事業の修了生からは国際大会出場者や全日本大会優勝者が出ており、取組の成果が現れている。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブの活性化事業等により、地域スポーツの充実・発展を支援した。</p>
<p>②施設利用及びサービス向上</p>	<p>○体育・スポーツ関係機関との連絡・調整を密に図ることにより、大会の効率的開催や県民が安心して楽しく利用できる施設提供業務の充実に努める。</p> <p>○国や市町村との連携を密にとり、全国の動向や地域実態の把握に向けた情報収集に努め、県民ニーズに即した情報発信に努める。</p> <p>○施設の有効活用、利用者のニーズに応じたスポーツ教室の開講、トレーニング室において初心者からトップアスリートまでが充実したトレーニングを実施できるよう個別相談やセミナーを提供する等のサービス向上を図る。</p> <p>○アンケート等を実施することにより、利用者のニーズの把握やサービス向上について充実改善を行う。</p>	<p>・平成29年度利用者数282,534人（対前年度比111.8%、28年度利用者数252,700人）</p> <p>・10月にアクションフェアを開催した。各種競技団体の協力のもと、インディアカ、ユニカール、車いすバスケット等のスポーツ体験を実施し、県民の体育・スポーツの普及振興を図った。（参加者：のべ2,336名）</p> <p>・県体育協会や各種目の競技団体、学校、行政機関等との連携を積極的に行い、県内の大会のみならず第71回九州高等学校ボクシング競技大会などで利用された。</p> <p>・トレーニング室利用者に対して専門的な観点から、利用に関する情報提供や相談を実施した。</p> <p>・県民のニーズに応じたスポーツ教室（エアロビクス、ヨガ等27コース）を年間を通じて計画的に行うとともに、無料体験教室を実施するなど、多くの県民へスポーツ活動の場を提供し教室参加者の増加を図った。（H28 1,442人、H29 1,449人）</p> <p>・スポーツ教室実施について新聞折り込みチラシの発行（約25万枚）や館内でのポスターの掲示等を計画的に行うなど、広報活動を積極的に行うことで利用者の拡大に努めた。</p> <p>・市町村やスポーツ団体等へのニュースポーツ用具の貸出（18件）やスタッフの派遣・相談サポート（9件）を行った。</p> <p>・近隣の市町村（須恵町、篠栗町、志免町）や企業の福利厚生団体等と利用協定（利用者に対する減免措置）を締結することにより、利用者の増加を図った。</p> <p>・休館日や開閉館時間において、学校の夏季休業中等は休まず開所するなど、利用者のニーズに応じた柔軟な対応を行い利用者の利便性を図った。また、利用者に対するモニタリングやアンケートを実施し、より県民のニーズに応えられるよう改善するなど、サービスの向上を図った。</p> <p>・休館日を活用し、定期的にサービス、マナー研修等の職員研修を行い、公共の体育・スポーツ施設の職員として利用者により適切に対応できるよう資質向上を図った。</p> <p>・ホームページ（ふくおかスポネット）を通じて多くのスポーツ情報（イベント、医科学、指導者等の情報）を県民に発信した（年間アクセス308,631件）。</p>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<p>○県民のスポーツ実施に対するニーズに応える各種教室の実施や、県内のみならず、九州、全国大会等を積極的に開催することなどにより、利用料金収入の増に努める。</p> <p>○利用者への良質なサービス提供を維持しながら、節電、節水等、光熱水費の削減に努める。</p> <p>○囑託、非常勤職員の活用により、人件費抑制を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入：目標額44,878千円 実績額39,630千円（対前年度比97.4%、28年度40,677千円） ・事業収入：目標額11,977千円 実績額13,026千円（対前年度比102.6%、28年度12,692千円） ・指定管理料：148,770千円（対前年度比100.9%、28年度147,381千円） ・照明のLED化やアリーナ・駐車場の電気の点灯時間を必要最小限にするなど効率的な管理運営を行い、電気使用料の削減に努めた。また、漏水対策として浴槽の改修工事を行ったことにより、水道使用料が減額となった。（電気使用料 対前年度比95.8%、水道使用料 対前年度比59.0%） ・囑託、非常勤職員の活用により、人件費抑制を図った。（県派遣職員：2名、臨時職員：2名、指導員（非常勤）：8名配置 非常勤等の割合83.3%） ・バナー広告の誘致に努めた。 ・休館日に職員全員で敷地内の草刈等の環境整備に取り組むなど、コスト削減に努めた。
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<p>○体育・スポーツの振興や利用者のニーズに十分に答える観点から、専門スタッフを配置する。</p> <p>○教育的配慮に基づいたスポーツ指導や事業実施のため、県からの正規派遣職員を配置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対しトレーニングやスポーツ医事・健康体力相談等に関する指導助言を行うために、保健体育科教員免許所持者・体力テスト判定員だけではなく、専門機関との連携等により専門スタッフ（医師、看護師、健康運動士、管理栄養士等）を配置している。 ・県派遣職員：2名、指導員（非常勤）：8名配置
⑤施設管理上の個別事項	<p>○利用者に対し、安全なスポーツ活動等の実施を適切に指導できる体制を整備するとともに、災害や事故発生時に適切に対応できる救急体制を整備する。</p> <p>○安全な施設管理を行うための体制を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当普及指導員によるAEDを用いた心肺蘇生法等救急法に関する講習を受講させるなど、安全に対する職員の資質向上を図るとともに、年間2回の避難訓練を実施するなど、災害や事故等発生時の適切な体制整備に努めた。 ・専門のビル管理業者に施設設備の管理を委託することにより、定期的な施設設備の安全点検や不備箇所の改善等を行い、適切な安全管理に努めた。 ・損害保険に加入することにより、不測の事態に対応できる体制をとっている。 ・平成28年4月に発生した熊本地震の影響によりメインアリーナの天井部材の一部が落下。改修工事が終わるまでメインアリーナの利用を一時停止し、平成30年2月に利用を再開した。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやチラシの配布等により新規利用者を開拓したこと、また、専門学校を個別訪問し利用促進を図ったこと等から、全体の利用者数は平成28年度に比べ約12%の増となっており利用者の確保に努めているが、利用料金収入は概ね前年度と同様である。 ・学校体育の充実、競技スポーツ及び生涯スポーツの振興に関して、スポーツ科学情報センターに対するニーズや役割は年々増している中で、各競技団体等と連携して事業を実施したり、各種大会を積極的に誘致したりと、県民の様々なスポーツ活動に寄与している。 ・利用者に対するアンケートなどを実施し、ニーズに応じた改善を行うなど、常にサービス向上に努めている。
---	--